

# 平成27年度 施政方針

## 「人が輝き

## 活力あふれる

## 日本の宝島「天草」へ

3月2日から同20日まで開かれた第1回市議会定例会の冒頭で、中村市長が市政運営の方向性を示す「平成27年度施政方針」を表明しました。今号では、同方針の主な内容をお知らせします。



▲施政方針を表明する中村市長

### 【産業経済部門】

## 「創造性豊かな産業のまちづくり」

農業の振興については、喫緊の課題であります担い手の確保策として、地域と協力し、国が進める「人・農地プラン」を推進して、集落営農組織の立ち上げ、法人化、担い手農家への農地集積等を進めてまいります。

特に、新規就農者の育成・確保については、国や市独自の給付金制度を継続するとともに、新規就農者研修事業を充実させ、移住者等を対象とした兼業農家の育成にも取り組んでまいります。

また、「安全・安心」な農産物の生産性の向上を図るため、農協と連携した営農指導体制を強化し、あまくさ晩柑や天草大王・天草オリーブなどの産地ブランド化を進めて、農畜産物の消費拡大に努めてまいります。

農業基盤整備については、中山間地域の農地基盤整備を進め、農業の経営基盤の強化を図るとともに、日本型直接支払制度の活用により、耕作放棄地化や有害鳥獣被

害から地域の農業と農地を守ってまいります。

農業後継者への支援策については、昨年度から実施しております婚活事業をさらに進めてまいります。

林業の振興については、「森林経営計画」に基づき、適正に管理された森林の利用と保護を進めてまいります。

また、天草産材を利用した新築・増改築に対する助成制度を拡充し、その積極的な利用を促すとともに、公共事業などにおける利用も進めてまいります。

このほか、林業関連団体と連携しながら、間伐材などを利用した製品の開発・販売や供給体制の構築を支援してまいります。

また、天草産材の需要拡大による林業の活性化を図り、関連業の雇用促進や林業の担い手の育成にも努めてまいります。

水産業の振興については、稚魚放流や漁場整備で水産資源の確保

を図りながら、つくり育てる漁業を進めてまいります。

まず、漁業者による資源管理を進めるほか、漁業所得の向上につながるよう、マガキ、ヒトエグサ等の養殖試験を拡充してまいります。

また、海藻が生えない「磯焼け」の広がりに対しては、築磯の設置や有害生物駆除等に取り組み「藻場」の再生を図るなど、水産資源の維持・回復に努めてまいります。

漁港の施設整備は、利用者の安全かつ円滑な利用を図っていくため、計画的に実施するとともに、機能診断による機能保全計画を順次策定し、施設の長寿命化に取り組んでまいります。

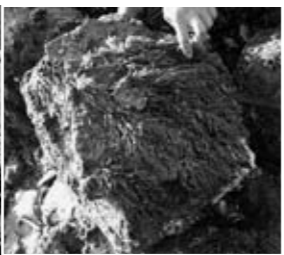
天草の水産物については、福岡都市圏を中心に積極的にPR活動を展開し、水産物の消費拡大とブランド化を進めてまいります。

急速冷凍技術については、調査・研究、課題の整理等を進め、水産物の付加価値の向上を目標としてまいります。

漁業就業人口の確保対策としては、熊本県や漁協などと連携しながら、新規就漁者の支援体制を整備してまいります。

商業の振興については、市民の皆様の地元消費を促すため、商工会議所や商工会と連携し、プレミアム付き商品券の発行や、昨年度に創設した住宅リフォーム助成制度を、引き続き実施してまいります。

また、商店街の活性化を図るため、商店街等が主催するさまざまなイベントや空き店舗への入居に対する支援も行っております。



御所浦町の漁業者グループが実施している「藻場造成」の取り組み